

2006.11.28 日仏文化講座

世界に広がるフランス語： 5大陸で話されるフランス語— その経緯と現実

西山教行（京都大学）

jnn@lapin.ic.h.kyoto-u.ac.jp

<http://kyotofle.sakura.ne.jp/>

はじめに

- ◆ 世界に広がるフランス語？
 - ◆ フランコフォニー・サミットの現状
- ◆ 世界各地のフランス語
 - ◆ 連続するフランス語圏
 - ◆ 断片化したフランス語圏
- ◆ フランコフォニーの成立
- ◆ 制度としてのフランコフォニー
- ◆ フランコフォニー空間

全体の構成

- ◆ 世界に広がるフランス語？
 - ◆ フランコフォニー・サミットの現状
- ◆ 世界各地のフランス語
 - ◆ 連続するフランス語圏
 - ◆ 断片化したフランス語圏
- ◆ フランコフォニーの成立
- ◆ 制度としてのフランコフォニー
- ◆ フランコフォニー空間

ブカレスト・フランコフォニー・ サミット2006年9月28.29日

- ◆ 中部アフリカ
- ◆ ブルンジ, カメルーン, 中央アフリカ, コンゴ, コンゴ民主共和国, ガボン, 赤道ギニア, ルワンダ, サントメ・プリンシペ, チャド



ブカレスト・フランコフォニー・ サミット2006年9月28.29日

- ◆ 東アフリカ，インド洋諸
国
- ◆ コモロ，ジブチ，マダガス
カル，モーリシャス，（モ
ザンビーク），セーシェル

ブカレスト・フランコフォニー・ サミット2006年9月28.29日

- ◆ 西アフリカ
- ◆ ベナン, ブルガリア,
ブルキナファソ, カポ
・ヴェルデ, コートジ
ボワール, (ガーナ),
ギニア, ギニア・ビサ
オ, マリ, ニジェール
, セネガル, トーゴ



ブカレスト・フランコフォニー・ サミット2006年9月28.29日

- ◆ 北アフリカ, 中東
- ◆ エジプト, レバノン,
モロッコ, モーリタニ
ア, チュニジア

ブカレスト・フランコフォニー・ サミット2006年9月28.29日

- ◆ アメリカ, カリブ
- ◆ カナダ, ニューヴォー・ブ
ランスヴィック州政府 (カナダ), ケベック州政府(カナダ), ドミニカ,
ハイチ, セント・ルシア

ブカレスト・フランコフォニー・ サミット2006年9月28.29日

- ◆ アジア, 太平洋
- ◆ (アルメニア), カンボジア, (グルジア), ラオス, ヴァヌアツ, ベトナム

ブカレスト・フランコフォニー・サミット2006年9月28.29日

◆ ヨーロッパ

- ◆ アルバニア, アンドラ, (オーストリア), ベルギー, ブルガリア, (キプロス), ベルギーフランス語圏共同体, (クロアチア), マケドニア旧ユーゴスラビア共和国, フランス, ギリシア, (ハンガリー), (リトウアニア), ルクセンブルク, モルダヴィア, モナコ, (ポーランド), (チェコ共和国), ルーマニア, (セルビア), (スロバキア), (スロベニア), スイス, (ウクライナ)

ブカレスト・フランコフォニー・サミット2006年9月28.29日

- ◆ フランス語を公用語とする国家・地域
- ◆ ベルギー, ベナン, ブルキナファソ, ブルンジ, カメルーン, カナダ, ニューヴォー・フランス, ヴィック州政府 (カナダ), ケベック州政府(カナダ), 中央アフリカ, ベルギーフランス語圏共同体, コモロ, コンゴ, コンゴ民主共和国, コートジボワール, ジブチ, フランス, ガボン, ギニア, 赤道ギニア, ハイチ, ルクセンブルク, マダガスカル, マリ, モナコ, ニジェール, ルワンダ, セネガル, セーシェル, スイス, チャド, トーゴ, ヴァヌアツ

ブカレスト・フランコフォニー・サミット2006年9月28.29日

- ◆ フランス語を共有する国家・地域
- ◆ アルバニア, アンドラ, ブルガリア, カンボジア, カポ・ヴェルデ, キプロス, ドミニカ, エジプト, マケドニア旧ユーゴスラビア共和国, ガーナ, ギリシア, ギニア・ビサオ, ラオス, レバノン, モロッコ, モーリシャス, モーリタニア, モルダヴィア, ルーマニア, セント・ルシア, サントメ・プリンシペ, チュニジア, ヴァヌアツ, ベトナム。

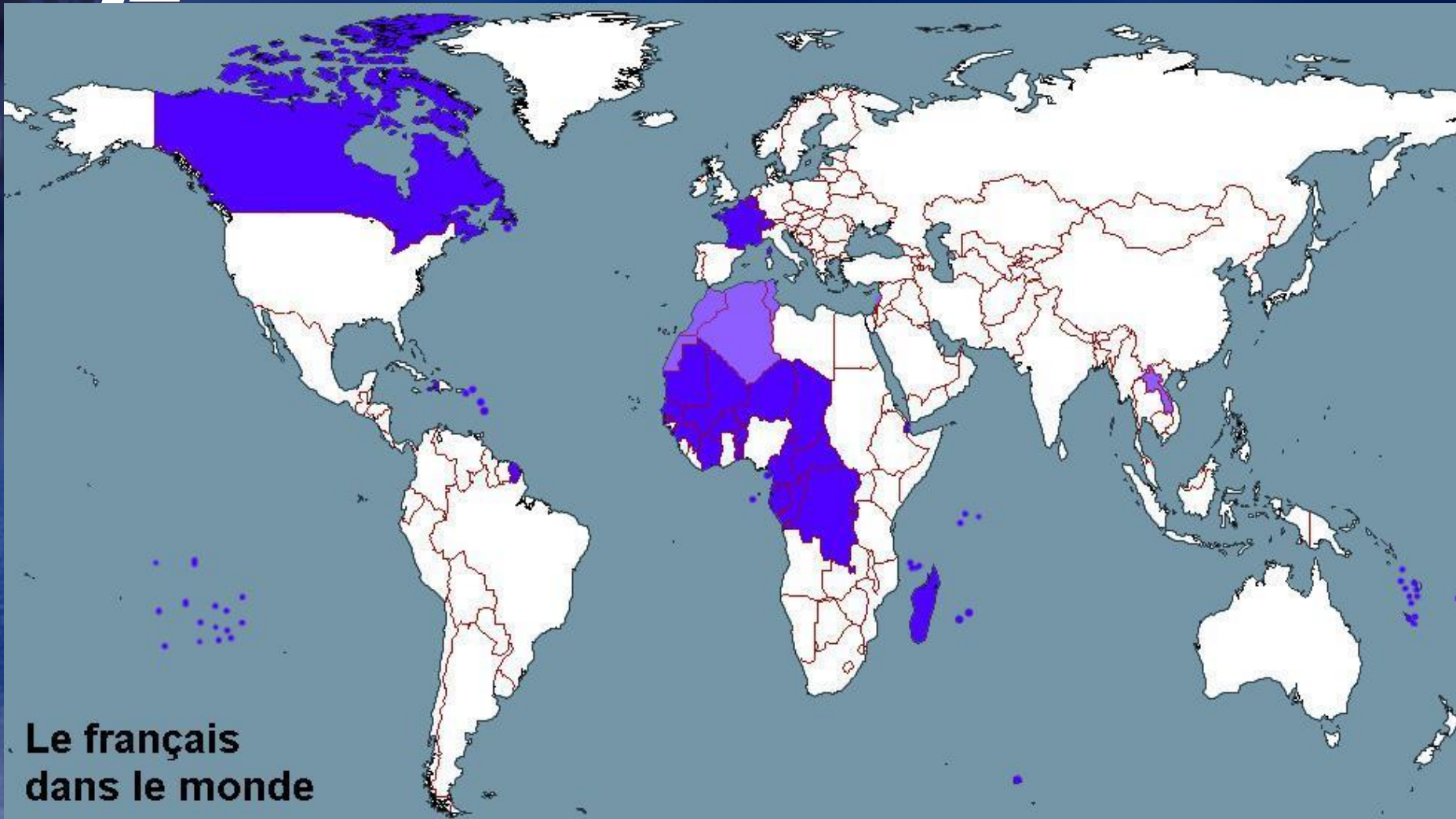
全体の構成

- ◆ 世界に広がるフランス語？
 - ◆ フランコフォニー・サミットの現状
- ◆ 世界各地のフランス語
 - ◆ 連続するフランス語圏
 - ◆ 断片化したフランス語圏
- ◆ フランコフォニーの成立
- ◆ 制度としてのフランコフォニー
- ◆ フランコフォニー空間

フランス語圏（フランコフォニー）の現状

- ◆ 連続するフランス語圏
- ◆ 断片化したフランス語圏
- ◆ 国際政治運動としてのフランコフォニー

世界各地で使用されるフランス語



世界各地で使用されるフランス語

- ◆ 連続するフランス語圏
 - ◆ フランス, ベルギー, スイスなど

世界各地で使用されるフランス語

- ◆ 断片化したフランス語圏
 - ◆ ケベック（カナダ）
 - ◆ カナダ
 - ◆ アメリカ
 - ◆ カリブ海諸国・地域
 - ◆ 南アメリカ（ギユイアンヌ）

世界各地で使用されるフランス語

- ◆ 断片化したフランス語圏
 - ◆ 北アフリカ
 - ◆ サハラ以南アフリカ
 - ◆ インド洋諸国
 - ◆ 中近東
 - ◆ 太平洋
 - ◆ アジア

フランス語圏形成の歴史

- ◆ 連続するフランス語圏
 - ◆ ヨーロッパにおけるフランス語の拡大
 - ◆ 言語地図と国境のずれ
- ◆ 断片化したフランス語圏
 - ◆ フランス植民地主義による拡大
 - ◆ 17世紀以降の第1次植民地帝国
 - ◆ 1830年以降の第2次植民地帝国

連続するフランス語

圏：

国境と言語地図

◆ フランス

◆ 多言語の侵入：フラマン語，
アルザス語，カタラン語，ブ
ルトン語

◆ ベルギー，スイス，イタリ
ア

◆ フランス語の侵入



断片化したフランス語圏： 第1次フランス植民地帝国

- ◆ カリブ海

- ◆ マルチニク, グアドループ,
サンドマング (ハイチ)

- ◆ インド洋

- ◆ レユニオン, モーリシャス

- ◆ カナダ

- ◆ ケベック

断片化したフランス語圏：第2次フランス植民地帝国

- ◆ 北アフリカ
 - ◆ アルジェリア， チュニジア， モロッコ
- ◆ 黒人アフリカ
- ◆ 太平洋
 - ◆ ヌベルカレドニア， ポリネシア，
- ◆ インド洋
 - ◆ マダガスカル

全体の構成

- ◆ 世界に広がるフランス語？
 - ◆ フランコフォニー・サミットの現状
- ◆ 世界各地のフランス語
 - ◆ 連続するフランス語圏
 - ◆ 断片化したフランス語圏
- ◆ フランコフォニーの成立
- ◆ 制度としてのフランコフォニー
- ◆ フランコフォニー空間

「フランコフォニー」の成立

- ◆ フランス人地理学者ルクリュ (1837-1916) の造語
- ◆ われわれの言語の使用者
- ◆ 使用者にとどまるよう定められている人々
- ◆ 使用者になるよう定められている人々
 - ◆ 『フランス、アルジェリアならびに諸植民地』 1880

ルクリュの考案したフランコフ オニー

われわれの言語の使用者

使用者にとどまるよう定められている人々

使用者になるよう定められている人々

フランス国内言語地図



——— Frontière linguistique : LANGUES GALLO-ROMANES Le «croissant» est une zone intermédiaire entre les langues d'oïl et les langues d'oc.
 - - - - - Frontière dialectale : Dialectes gallo-romans
 ——— Frontière politique : Langues non gallo-romanes

われわれの言語の使用者

- ◆ フランス国内のフランス語系フランス人

フランス語の使用者にとどまるよう定められている人々

- ◆ アルザス・ロレーヌ地方のフランス人
- ◆ フランス語系ベルギー人
- ◆ フランス語系スイス人
- ◆ フランス語系イタリア人
- ◆ ケベックのフランス系カナダ人
- ◆ ルイジアナのアメリカ人
- ◆ アンティユ, ハイチ, ブルボン島 (現在のレユニオン島), フランス島 (現在のモーリシャス) など

フランス語の使用者になるよう定められている人々

- ◆ フランス国内のブルトン人、バスク人
- ◆ アルジェリアのアラブ人、ベルベル人

全体の構成

- ◆ 世界に広がるフランス語？
 - ◆ フランコフォニー・サミットの現状
- ◆ 世界各地のフランス語
 - ◆ 連続するフランス語圏
 - ◆ 断片化したフランス語圏
- ◆ フランコフォニーの成立
- ◆ 制度としてのフランコフォニー
- ◆ フランコフォニー空間

制度としてのフランコフォニー

- ◆ フランス語を部分的および完全に使用する大学協会AUIPELF(1961)
- ◆ フランス語教授国際連盟FIPF(1969)
- ◆ 文化科学技術協力機構ACCT(1970)
- ◆ フランコフォニー・サミット(1986)
 - ◆ フランコフォニー大学機構
 - ◆ フランス語国際衛星放送TV5
 - ◆ サンゴール大学など

フランコフォニー・サミットの 流れ

- ◆ 1986年 第1回ヴェルサイユ・サミット
- ◆ 1987年 第2回ケベック・サミット
- ◆ 1989年第3回ダカール（セネガル）サミット
- ◆ 1991年 第4回シャイヨ宮（パリ）サミット
- ◆ 1993年 第5回モーリシャス・サミット
- ◆ 1995年 第6回コトヌウ（ベナン）サミット

フランコフォニー・サミットの 流れ

- ◆ 1997年 第7回ハノイ（ベトナム）・サミット：事務総長の選出，紛争予防，人権の擁護
- ◆ 1999年 第8回モンクトン（カナダ）・サミット：青少年，人権，民主主義，法治国家
- ◆ 2002年 第9回ベイルート（レバノン）サミット：文明の対話
- ◆ 2004年 第10回ワガドゥグー（ブルキナ・ファソ）サミット：持続的発展
- ◆ 2006年 第11回ブカレスト（ルーマニア）・サミット：教育における情報技術

フランコフォニー・サミットの 課題

- ◆ 国際政治運動
- ◆ 言語文化の多様性を推進
 - ◆ 言語文化の一極化＝世界のアメリカ化に対抗
- ◆ フランス語という理念の後退

全体の構成

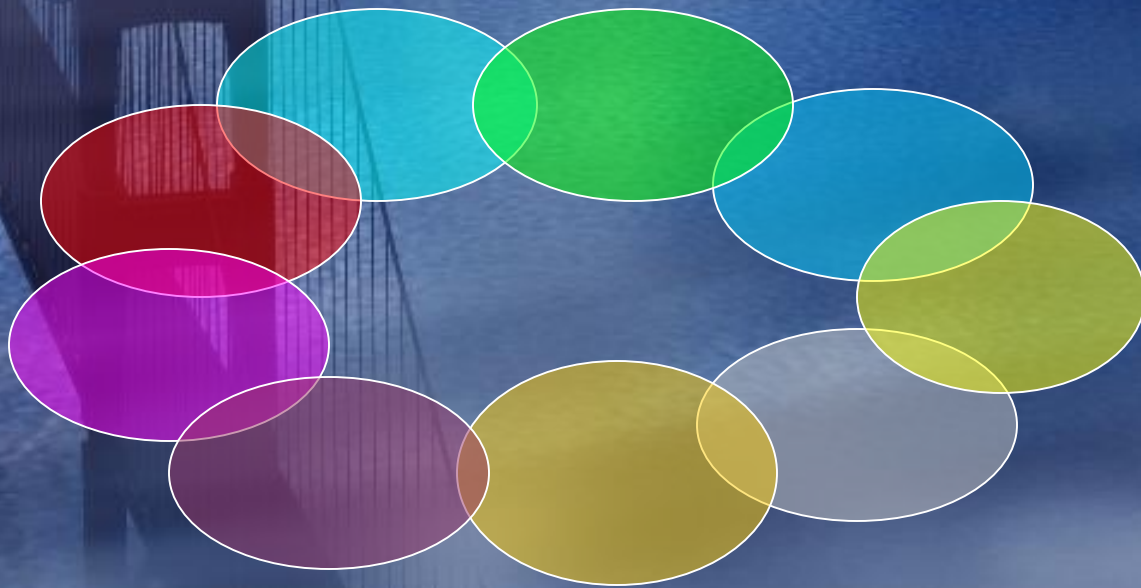
- ◆ 世界に広がるフランス語？
 - ◆ フランコフォニー・サミットの現状
- ◆ 世界各地のフランス語
 - ◆ 連続するフランス語圏
 - ◆ 断片化したフランス語圏
- ◆ フランコフォニーの成立
- ◆ 制度としてのフランコフォニー
- ◆ フランコフォニー空間

フランコフォニー空間の形成

- ◆ 文化的概念
- ◆ 自由に関与する集団
- ◆ 国籍や民族にとらわれない。

多極的世界としてのフランコ フォニー

- ◆ 共有されるフランス語
- ◆ アンティューユ列島型思考



まとめ：フランコフォニーとは？

- ◆ 社会言語学的実体
 - ◆ フランス語話者の集合
- ◆ 国際政治運動
 - ◆ 言語文化の多様性，世界の多極化の推進
- ◆ 自由と共有の空間